

誰かを支援する時代は終わり。

一方的に



1

代表理事 永村 夏美

リン Copp ジャジャ 会員のみなさま、SNSを通して活動を見守ってくださっているみなさま、応援ありがとうございます。2020年3月、コロナウイルスの影響で青年海外協力隊員として活動していたジャマイカから帰国を余儀なくされ、「コロナ渦の今こそ動きを止めてはいけない」という直感から同年12月にNPO法人LINK UP JAJAを設立しました。

LINK UP(リン Copp)とは「会いに行く」「つながる」というジャマイカの言葉です。美しいカリブ海、豊かな自然、日常に溶け込むレゲエミュージック、そして何よりユーモア溢れるジャマイカの人たちに魅了され、ジャマイカと関わって気づけば20年が経ちました。また、ジャマイカの人たちとの関わりが深まると共に、明るい彼らが胸の奥に抱える悲しみや苦しみを目撃するようにもなりました。ジャマイカの人たちを苦しめる社会問題の多くは、貧困に起因します。

JAJA REPORT

NPO法人 リン Copp ジャジャ
LINK UP JAJA VOL.1

「私の友達は働き者なのに、どうしていつまでも貧乏なんだろう。」

その疑問に対する答えは、ジャマイカの社会構造にありました。仕事がない、給料が安い、物価が高い、社会保障が少ない、さまざまな格差が存在する社会では、貧困層に一発逆転のチャンスが無く、一生懸命働いても報われない人がほとんどです。ジャマイカ人が貧しいのはジャマイカ人のせいなのか？ジャマイカに社会保障が少ないのはジャマイカ政府だけのせいなのか？そう考えるうちに、秋田県ほどの国土ジャマイカで目にする貧困、差別、格差の問題は、いびつな世界の仕組み(システム)の縮図であると気づきました。1日1.9ドル以下で生活する人々が世界に7億人もいるのは誰のせいなのか？先進国である日本で7人に1人の子供が「貧困」であるのは誰のせいなのか？そして、

それらの疑問はやがて誰に責任があるのか(自分に責任はないのか)? どうしたら解決できるのか?という問題意識へと変化しました。NPO法人リン Copp ジャジャは、ジャマイカのポジティブでユニークな文化を紹介し、異文化理解や国際交流を深めることはもちろん、ジャマイカが抱える課題について問題提起し、多くの人を巻き込んでそれらの課題に取り組むたいと考えています。小さな変化なくして大きな変革はあり得ません。無駄な抵抗に思われることでも、みんなが長期的に取り組むことで問題解決への道筋が開かれると信じています。一方的に誰かを「支援」する時代は終わりです。お互いに無理なく続くサステナブル(持続可能)な関係をジャマイカの人たちと築き、日本のみなさんがジャジャの活動を通してジャマイカのエネルギーを受け取れるような、「いつかジャマイカに行ってみたいなあ」と思ってもらえるような取り組みを目指します。みなさんのリン Copp、よろしくお願ひいたします!

2

理事 Bun Bun the MC

82年、16歳でハードコアパンク「ZOUO」のドラマーとして音楽活動開始。のちレゲエに出会いダンスホールを知り虜になる。86年伝説のクラブダイナマイトでDJデビュー。また、2009年より、club Sound Channelとの共催で大阪、月1レギュラーイベント「RAGGA CHANNEL」も新たにスタート。



レゲエ界のレジェンド

現在、BUN BUN the MCとしてソロや色々なアーティストとのセッションで歌を歌い1★狂の活動とイベント活動で多忙な毎日を送っている傍、JAJAの理事として活動を支援している。

日本×ジャマイカ



いつもLINK UP JAJAを支援してくださっている皆様ありがとうございます。JICA海外協力隊任期終了後でもジャマイカに支援を継続することができ非常に感謝しています。

JAJA設立のきっかけにもなったフェアトレード事業では日本×ジャマイカの商品企画

では現代の大量生産、大量消費とは相反する取り組みを行いました。「職人の顔が見える」をモットーに少量生産の非営利法人ならではの商品展開をしています。サステナブルでありながらジャマイカ独自のセンスを日本の皆様に体験してもらいます。

3

理事 東 伊織

4

フェアトレード事業



大量生産にはない職人魂

コロナ打撃で失業した仲間を支える個人的活動をきっかけに、リンコップジャジャの「フェアトレード事業」が生まれました!お店の名前はCHAKA CHAKAです。チャカチャカとはジャマイカの言葉「パトワ」で「ごちゃごちゃ」という意味です。ジャマイカの街ってなんかごちゃごちゃしてて、ちょっと大阪の難波とか道頓堀の混沌とした感じにも似ています。大阪出身の永村が「響きが良いから」と名付けましたが、ジャマイカ人には「ごちゃごちゃなんていう店の名前、おもしろいなあ〜!」と笑われました。「フェアトレード」とは、公平に(フェアに)取引(トレード)するという意味で、作り手にまっとうな商品代や作業賃を支払う商売のあり方です。例えば「このコーヒー安くて美味しいよね〜」と言って飲んでる100円コーヒーが、実は南米の人たちによる超低賃金・重労働、はたまた児童労働によって生まれたかもしれない。日本でも問題意識が高まり、「価格は割高でも、搾取によって生まれた製品を買いたくないからフェアトレード商品を買っています」という人は年々増えているようです。

リンコップジャジャは、コロナの影響で観光客が途絶え収入が激減してしまったジャマイカの職人さんを応援すべく、彼らが作ったハンドメイド商品を販売しています。職人さんにオーダーして作ってもらったものもあれば(サンダル、洋服、アクセサリー、カバン)、職人さんが売っているのを買ったもの(木彫りやお土産アイテム)もあります。値段交渉はしますが、「フェアトレード」と謳う以上は「買い叩かない」のがモットーなので、値が高くなります。ですが、職人さんが丹精込めて作ったアイテムには、大量生産された商品には無い「職人魂」が光っています!NPO法人リンコップジャジャのブログでも、CHAKA CHAKAで販売している商品の製作過程などをご紹介します。オンラインストアの収益は、NPO法人リンコップジャジャのプロジェクト費用等に充てられます。ぜひ一度CHAKA CHAKAオンラインストアを覗いてみてください。

<https://chakachaka.official.ec/>

5

WEB広報担当 萌

はじめまして。主にJAJA NEWSの執筆を担当している萌です。コロナ感染拡大で帰国となった2020年3月までの1年間、2018年度4次隊のコミュニティー開発隊員としてアフリカのザンビアで活動していました。私が担当していたのは、稲作の普及。トウモロコシ栽培がメインのザンビアの農家さんへ、換金作物としてのお米の栽培を提案していました。ザンビア人お米食べるの?そもそもアフリカでお米の栽培ってできるの?といった話は、長くなりそうなのでまたJAJA NEWSで書いていきたいと思います。そんなこんなで日本へ緊急帰国となり、やりきれない悶々とした数ヶ月を過ごしたあと、ジャジャを始めた代表永村の活動をFacebookで知りました。厳密には少し前から知ってはいたけど、自分にできることをできるところからやりたい!と思うようになりました。Webマーケターとしての就職を希望していたので、国際協力に携わりながらWebまわりの実践もつめるのではと、代表に「お手伝いをさせてください!」直談判したのがきっかけです。ジャマイカに行ったこともなければ、詳しくもない。半分勢いで参加した私を受け入れてくれた代表にはとても感謝しています。では私に何ができるのか。それは、「ジャマイカをよく知らない人の視点」から活動を考えることかなと思っています。ジャマイカを知っている日本人は多くありません。レゲエ好きもそう多くはないでしょう。その中で、どんなネタや切り口であればジャマイカに関心をもってもらえるのか。ジャマイカの面白さが伝わるのか。ジャマイカに詳しくないからこそ、支援者となる日本人の目線から「とつきやすい」記事を書いて参ります!今後インタビューをさせていただくこともあるかもしれません。ご協力よろしくお願ひいたします。



国際協力×WEBマーケターの道



全ての人に社会的役割を

6

障害者の居場所作り

ジャジャの永村は、日本で障害者の自立生活支援をしていることもあり、ジャマイカにおける障害者事情には以前から関心がありました。2017年には障害孤児院で半年間ボランティアに通い、青年海外協力隊として派遣された2019年には障害児学校にも通いました。ジャマイカでは福祉制度が充実しておらず、障害者福祉も十分ではありません。聴覚障害児学校、視覚障害児学校、知的障害児学校などがありますが、重度の障害を持つ子供たちの受け皿はほとんどなく、大人の障害者を支援する政策もほとんどありません。日本には重度の障害を持つ人が通う「作業所」と呼ばれる場所があります。「就労継続支援」や「生活介護」と呼ばれる福祉施設で、行政の助成金を受けて運営しています。軽作業などの「仕事」を行うばかりでなく、疲れたらごろんと横になったり、みんなでお茶を飲んだり、障害の特性や個人のペースに合わせて時間を過ごします。重い障害があっても社会的役割があり、地域に居場所があり、仲間が近くにいることは、人間味ある豊かな暮らしに欠かせない要素です。ジャマイカの障害児や障害者に関わるようになり、「ジャマイカにも障害者の居場所が必要だ」と強く思うようになりました。リンコップジャジャは、「ジャマイカで障害者の居場所を作る」ことを、今度の活動の柱にしたいと考えています。ジャマイカの人たちとの繋がりを強みに、長期戦を覚悟で、少しずつ手探りで進めていきたいと思っています。ジャマイカの障害者事情についてはブログでもご紹介していますので、ぜひ読んでみてください。

リンコップジャジャは、会員さんを大・大・大募集しています!会員さんには定期的に会報をお届けする他、メイド・イン・ジャマイカ製品を扱うCHAKA CHAKAオンラインストアにて会員特典もご用意しております。入会希望、お問い合わせはお気軽にお寄せください。

正会員 3,000円(会報、会員特典あり) 賛助会員3,000円(会報や特典を希望されない方)

 [LINK UP JAJA](#)